

平成16年9月7日
経済産業省

平成16年度情報化月間について

情報化月間 10月1日～31日

テーマ：ITで創る21世紀

サブテーマ：安全・快適。くらしの中のIT

9月6日（月）、経済産業省において情報化月間推進会議を開催し、平成16年度情報化月間のテーマ、開催行事及び本年度の情報化促進貢献個人・企業等・情報処理システムの表彰等を決定した。

1. 平成16年度情報化月間のテーマ

平成16年度情報化月間のテーマは、ITが、経済・社会、さらには個人の生活のあらゆる場面にまで浸透し21世紀の新たな発展のカギを握っていること、ITの利活用による利便性の享受は安全、快適な環境で実現されることが必要であることから、メインテーマについては昨年と同様「ITで創る21世紀」とし、サブテーマを「安全・快適。くらしの中のIT」と決定した。

2. 情報化促進貢献個人・企業・情報処理システムの表彰等

情報化促進に著しく貢献した個人表彰は、青木 由直（北海道大学大学院情報科学研究科メディアネットワーク専攻情報メディア学講座メディア創生学研究室教授）ほか11名、企業等の表彰は、特定非営利活動法人イー・エルダーほか12企業・団体、情報処理システムの表彰は、システムニーズ㈱「WinSafeシリーズ」ほか13件を選定した。

「U - 20 (アンダー20)プログラミング・コンテスト」については、「個人部門」では岐阜県立多治見工業高校 望月 岳の「求人情報検索システム」、
「団体部門」では学校法人静岡理工科大学沼津情報専門学校コンピュータ科
2004年3月卒業の「タイピングゲーム制作用スクリプトシステム」がそれぞれ最優秀賞に決まった。その他に「個人部門」では、優秀賞1件、入賞2件、
「団体部門」では優秀賞1件、入賞4件を選出した。

3 . 開催行事

平成16年度情報化月間のオープニングセレモニーである「情報化月間記念式典」は、10月1日(金)16:30から東京全日空ホテルにおいて、経済産業大臣、総務大臣、国土交通大臣ほか関係者出席のもとに開催し、情報化促進貢献個人等の表彰及びU - 20 (アンダー20)プログラミング・コンテスト入選作品の表彰を行う予定である。

また情報化月間記念式典特別行事として、10月1日(金)東京全日空ホテル内の4会場において、以下の内容で開催する。

(1)情報化月間記念講演会

時間：10:00～16:00

場所：東京全日空ホテル(プロミネンス())

主催：財団法人日本情報処理開発協会

(2)ソフトウェア・エンジニアリング・センター(SEC)設立発表会

時間：10:00～12:00

場所：東京全日空ホテル(ギャラクシー)

主催：独立行政法人情報処理推進機構

(3)情報セキュリティガバナンス時代に向けて

～情報セキュリティと企業価値～

時間：13:00～16:00

場所：東京全日空ホテル(ギャラクシー)

主催：独立行政法人情報処理推進機構

(4)教育の情報化シンポジウム(仮称)

時間：13:00～16:00

場所：東京全日空ホテル(オーロラ)

主催：財団法人コンピュータ教育開発センター

(5)「IT 経営応援隊」発足記念セミナー

時間：10：00～12：00

場所：東京全日空ホテル（グローリー）

主催：独立行政法人情報処理推進機構

(6)IT スキル標準シンポジウム

「IT スキル標準を活用したIT プロフェッショナル人材の育成」

時間：13：00～16：00

場所：東京全日空ホテル（グローリー）

主催：独立行政法人情報処理推進機構

(7)「U - 20（アンダー20）プログラミング・コンテスト入選作品」の展示・デモンストレーション及びセキュリティキャンプ2004実施報告会

時間：13：00～16：00

場所：東京全日空ホテル（ルミナス）

主催：財団法人日本情報処理開発協会

この他、情報化月間協賛行事として、全国各地において情報化に関する講演会、展示会、セミナー、シンポジウム等の行事が予定されている。

（8月27日現在 161件）

（御参考）

情報化月間は、経済産業省をはじめとする関係6府省（内閣府、総務省、財務省、文部科学省、国土交通省）が毎年10月を情報化月間と定め、情報化に関する普及・啓発を重点的に行っている。情報化月間推進会議は、情報化月間の基本方針、スケジュール等に対する意見具申を行っている。

このほか、情報化月間については次のホームページでご覧頂けます。

<http://www.jipdec.jp/gekkan2004>

（本発表資料のお問い合わせ先）

経済産業省商務情報政策局情報処理振興課 岩崎・木島

電話 03 - 3501 - 2646

FAX 03 - 3580 - 6073

平成16年度情報化促進貢献個人等の表彰

1.平成16年度情報化促進貢献個人表彰

経済産業大臣表彰

氏名	所属	業績
青木 由直	北海道大学大学院情報科学研究科メディアネットワーク専攻情報メディア学講座メディア創生学研究室教授	北海道マイクロコンピュータ研究会を設立し、現在の札幌バレーのコアとなる情報系ベンチャー企業を多数輩出。「札幌バレー生みの親」と評され、知的クラスター創成事業「札幌ITカロッツェリア構想」においては全体を総括するとともに、国際化にも尽力。地域の情報化に貢献。
関 隆明	NECソフト(株) 代表取締役会長	「MRP方式による生産管理システム」を導入し、鉄鋼業界全体の生産効率・経済性向上に貢献。(社)情報サービス産業協会の要職、各種業界の委員として、人材育成に尽力するとともに、中小企業へのIT支援活動を通じて地域においても先導的な役割を果たし情報化に貢献。
高原 康彦	千葉工業大学教授	システム監査学会会長としてシステム監査の発展に貢献するとともに、経営情報学会会長として同学会の情報及び情報技術の活用における中心的学会としての礎を築き、ISMS制度においては、審査員を厳正に評価・判定する識者として制度の確立に尽力するなど、情報化促進に貢献。
高村 眞司	(社)神奈川県情報サービス産業協会 名誉会長	神奈川県情報サービス産業協会会長、神奈川県マルチメディア産業推進協議会副会長等として、産学連携事業をはじめ地域に密着した活動により地域情報産業の育成、振興、発展に尽力。全国地域情報産業団体連合会副会長として情報関係政府施策の実現にも貢献。
辻本 憲三	(株)カプコン 代表取締役社長	(社)コンピュータエンターテインメント協会設立に尽力し、(社)コンピュータソフトウェア著作権協会理事長として、エンターテインメント産業、コンテンツ産業の発展に寄与。政府関係研究会委員としてデジタルコンテンツの立場から情報化促進に貢献。
徳田 英幸	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科委員長	ユビキタス・コンピューティング研究の第一人者として、国内外で高く評価されており、JR東日本の「列車内でもインターネット」プロジェクト等を通じてユビキタス時代の実現に貢献。ソフトウェア人材の育成、オープンソフトウェア市場の創成にも尽力するなど情報化促進に多大な貢献。
山地 克郎	富士通(株)顧問	(社)電子情報技術産業協会の法務・知的財産権総合委員長をはじめ公益法人等での活動を通じ、IT産業に関わる法務・知的財産権並びに標準化関連事項の整備に尽力。また、政府関係審議会委員として産業界の立場から貴重な意見を提言するなど、情報化促進に貢献。
横尾 良明	全国ソフトウェア協同組合連合会専務 理事、事務局長	全国ソフトウェア協同組合連合会専務理事、首都圏ソフトウェア協同組合理事長として、ソフトウェア業界の中小企業の育成に尽力するとともに、下請代金支払遅延防止法改正の際には、参考人として意見陳述を行い、下請け構造の問題解決に積極的な提案をおこなうなど情報化に貢献。

総務大臣表彰

氏名	所属	業績
上田 廣	淑徳大学教授 国際コミュニケーション学部長	情報通信分野の人材育成の在り方についての検討結果の取りまとめに中心的な役割を果たすなど、国民の情報通信に対する認識を高めるとともに、情報通信ソフト懇談会構成員及び同懇談会の人材育成ワーキンググループ座長、ITビジネスモデル地区構想選定評価委員を務めるなど、情報通信の総合的な発展に大きく貢献。
大久保 榮	早稲田大学大学院 国際情報通信研究科客員教授	デジタルコンテンツやネットワークに係る技術に関する政府及び民間における取組や検討に積極的に参画し、我が国の情報通信技術の発展において先導的な役割を果たすとともに、ITUにおいてグループリーダーや議長等の要職を務めるなど、情報通信に関する国際標準化の推進にも多大な貢献。
小川 直樹	(財)港湾空港建設技術サービスセンター調査役兼横須賀CALS支援センター長	旧運輸省における行政情報化に寄与。特に、港湾情報処理システムの整備に尽力し、港湾建設・管理事務の効率化、高度化に貢献。また、省庁間ネットワークの整備や電子計算機利用効率化共同研究会のメンバーとして研究成果のとりまとめに尽力し、政府全体の行政の情報化に貢献。
根岸 哲	神戸大学大学院 法学研究科教授	情報通信審議会電気通信事業部会長として、電気通信事業分野の競争政策に関する審議の取りまとめに尽力するとともに、同分野の競争評価の実施に対して指導的役割を果たすなど、情報通信行政の推進に多大な貢献。

国土交通大臣表彰

推薦候補なし。

2.平成16年度情報化促進貢献企業等表彰

経済産業大臣表彰

企業等の名称	代表者	業 績
特定非営利活動法人 イー・エルダー	代表者 五月女 喜二	企業から提供された中古パソコンを契約した障害者施設に再生を委託し、社会貢献団体へ無償寄贈するとともに、高齢者・障害者に優しくITを教える「シニア情報生活アドバイザー」を養成、IT講習会を実施するなど、高齢者・障害者の情報化に貢献した。
(株)クレセント	代表取締役 古閑 睦朗	視覚障害者等の情報弱者も自由に情報を取得できる社会実現のため、次世代音声認識技術を核とした音声認識ソリューションの開発を行い、行政のホームページへの音声認識技術の導入を全国で初めて実用化。行政ホームページへのボイスポータル化を実現するなど情報化に貢献した。
(株)システムサポート	代表取締役社長 深澤 達郎	社会問題化している情報セキュリティ防止を目的に、組織上の管理者等のレベルで状況管理ができる「エレクトリックアイ」を開発。入力文字列の取得、アイドル時間控除による正確な業務量の計測等の特徴をもち、仕事の軽量化、情報セキュリティ向上に著しい貢献をした。
特定非営利活動法人 シニアSOHO普及サロン三鷹	代表理事 堀池 喜一郎	三鷹市の協働事業として、学校教育、高齢者、IT講習事業、地域産業等様々な分野に関わり業績をあげ、地域情報化に貢献し、平成16年度国民生活白書にも先進的取組の成功事例として取り上げられ、日本経済新聞社「日経地域情報化大賞」受賞。
(株)ジャステック	代表取締役社長 神山 茂	独自開発した「ソフトウェア生産管理システム」を基本に、ISO9001を取り入れるなど、独創的な品質保証体系を確立し、役務提供から一括請負へのビジネスモデルの転換等を業界内で率先して実施。情報サービス市場の健全化に大きく貢献している。
(株)名古屋ソフトウェアセンター	代表取締役社長 内藤 進	ITSSP事業に積極的に参画し、県内中小企業のIT活用による経営活性化に大きく貢献するとともに、ITコーディネーター制度の普及、育成にも意欲的に取組み、地元金融機関及び商工会議所等と連携しながら中小企業のIT投資支援・経営活性化を推進するなど情報化に貢献している。
(株)メリーチョコレートカンパニー	代表取締役社長 原 邦生	中小企業としては極めて早くから経営にITを活用し、生産から物流、販売、財務、人事の統合的なシステムを一社で構築するとともに全社員での情報共有、取引先企業に対する情報提供などにより、経営効率化に継続的に取組み経営改革に成功。中小企業のIT活用の模範的事例。

総務大臣表彰

企業等の名称	代表者	業 績
川口市	市長 岡村 幸四郎	行政相談・情報提供システムをはじめとする公共施設のネットワーク接続や市民向けのキオスク端末を設置する一方で、防災・衛生・教育といった住民向けのアプリケーションの面においても先進的な情報化施策を推進しており、他の自治体の模範として地域情報化の推進に大きく貢献。
タイムビジネス推進協議会	会長 大橋 正和	標準時配信サービスや時刻認証サービスを行う「タイムビジネス」に関する調査・研究、シンポジウムの開催などを通じてタイムビジネスの早期普及を図り、我が国におけるタイムビジネスを積極的に推進し、高度情報通信ネットワーク社会の構築に大きく寄与。
(社)テレコムサービス協会VoIP推進協議会	会長 志岐 紀夫	電気通信事業者に対して050番号の申請方法、品質評価方法等をわかりやすく示した「IP電話の総合品質とIP電話番号申請のためのガイドライン」の作成に尽力したほか、電気通信事業者が総合品質を測定評価するための「IP電話の通話品質測定ガイドライン」を作成するなど、050番号を用いるIP電話の普及促進を図り、情報化促進に大きく貢献。

国土交通大臣表彰

企業等の名称	代表者	業 績
(財)建築行政情報化センター	理事長 救仁郷 斉	発足以来、膨大な量の建築確認関係情報のデータベース化や建築確認支援システムの開発などを通じて、建築行政の情報化を推進してきた。特に、平成15年度には利便性の高い建築確認支援システム「ほくと」の導入や誰でも無料でダウンロードのできるサイトを開設するなど、建築行政の情報化の普及啓発に多大な貢献をした。
東海旅客鉄道(株)	代表取締役社長 松本 正之	これまで、列車運行系システムの高度化に取り組み鉄道事業の安全性と正確性の向上に先導的な役割を果たしてきた。また、何時でも何処でも携帯電話やパソコンから簡単な操作で東海道新幹線の指定席予約や変更取消ができる「エクスプレス予約システム」を導入し顕著な成果をあげ、国民生活の向上に多大な貢献をした。
(株)日本航空	代表取締役社長 新町 敏行	従来から、ホームページ等を活用した航空券の予約購入サービスの向上に積極的に取り組んできた。平成15年度には、世界で初めて携帯電話を使った国内線航空券の決済と搭乗手続きができる「ケータイチェックイン」システムを導入し顕著な成果をあげた。情報化の先導的役割を果たすとともに、国民生活の向上に多大な貢献をした。

3.平成16年度情報化促進貢献情報処理システム表彰

情報化月間推進会議議長表彰

システムの名称	表彰理由
WinSafeシリーズ システムニーズ(株)	PC端末や社屋の入退室の認証と、既存の出退勤管理や在籍管理との連携を行う統合システムである。認証には、ICトークンや指紋認証を用いることができ、これまでに管理クライアント数で数多くの実績がある。ICトークンによる電子認証方式の普及にも貢献している。
危機報知と安否確認機能を統合した危機管理・配信システム (株)コム・アンド・コム	これまでの安否確認システムと異なり、ユーザの居住地での災害発生時に自動通報し、携帯メールで送り返すことでユーザの安否を確認できる。また、ユーザの関係者にもその情報を伝えることができる大量安否確認メール配信サービス。災害情報と安否情報を組み合わせたサービスの形態として期待できる。
組込みソフトウェア自動検査システム 日本ノーベル(株)	携帯電話等の長時間に渡る物理的に押下する連続テストの実施、長時間の自動テストによる効率的なテストカバレッジ向上に寄与できる自動検査システムである。これまでは手動で行わなければいけなかったテストを自動化することで、試験効率を上げ、品質向上にも大きく期待できる。
グリッドコンピューティングシステム 大学共同利用機関法人自然科学研究機構	スパコンとPCクラスタを組み合わせることで実用化した世界最大規模級のグリッドコンピューティングのシステムで、ナノサイエンス研究の分析演算を行うものである。スパコンとPCクラスタを合わせたこれからの計算環境の効果的な使い方の参考としても今後にも貢献できるものである。
THE Staff-2000 (株)ビジネスアプリケーション	人材派遣業に必要な派遣人材管理、営業管理など業務をパッケージ化したシステムである。特に人材派遣法に則った管理処理や帳票発行で工夫が施されており、人材派遣業に特化した総合パッケージとして多くの利用実績を残し、人材派遣業務の効率化に大きく貢献している。
THE STARシステム (総合証券業務オンラインシステム) (株)野村総合研究所	本システムは、これまでメインフレームで稼働していた約1000万ステップの大規模レガシーシステムを分散サーバー処理に全面刷新し、注文・約定・残高更新のバッチレス化を実現したオンラインシステムである。ユーザーである各証券会社の証券処理業務のインフラとなる情報システムであり、その業務の高度化に寄与している。
新総合医療情報システム 岐阜大学医学部附属病院	標準的な技術仕様(DICOM、HL7、MFER、PKI、XML、標準病名)を積極的に活用し診療現場で発生するあらゆる形態(テキスト、数値、波形、動画など)の診療情報を一元管理できるしくみを構築した、電子カルテシステムを中心とした総合医療情報システムである。今後の医療情報システムの展開に非常に参考となるシステムとして大きく貢献している。

<p>配電業務ナビゲーションシステム 東北電力(株)</p>	<p>配電設備情報から得られる停電情報と、GPS/カーナビを利用した車両誘導、巡回支援、車輛管理を組み合わせること で、停電復旧支援や点検を行えるシステムである。現在すでに日本の幅広いエリアを管理しており社会的貢献も大きい と同時に、今後広く普及が予測される車載情報端末の活用において、電力系に限らず、他の業種でも広く応用できる情 報システムである。</p>
<p>オフセットビートキャンセラー装置 マスプロ電工(株)</p>	<p>地上放送のデジタル化に際しては、一部、現行アナログ周波数を他の周波数に移行させる必要が生じるところ、本シス テムはその際に発生する電波障害を軽減し、かつ対策工事期間を短縮するものであり、地上デジタル放送の普及に大 きく貢献。</p>
<p>メガビジョン映像システム メガビジョン(株)</p>	<p>HDTV技術をベースに視野角を水平方向へ3倍拡張し、“見たいところを見られる映像”として実現する世界初のシステ ムであり、2002年日韓サッカーワールドカップ開催時に開発、実証実験を実施。既存のHDTV撮影システムを利用でき るため、コストパフォーマンスの高い超高精細映像システムの構築を可能とし、我が国における映像技術の進展に大 きく貢献。</p>
<p>ユビキタス・ゲーミング 凸版印刷(株)</p>	<p>実空間とバーチャル空間を融合させたゲームの世界をリアルに体感できる世界初のシステムを実現。同システムは現在 公開中の「テレビゲームとデジタル科学展」のような博物館における利用のほか、視覚障害者に対するガイドシステムへ の応用といった社会的波及効果が大きく、文化面・福祉面での情報通信の活用に多大な貢献。</p>
<p>ウィットネス(ドライブレコーダー) 練馬タクシー(株)</p>	<p>乱暴で危険な運転操作をした際に警告音を発するとともに、事故発生時の映像を記録することができる日本で初めて開 発されたタクシー版のフライトレコーダーである。本システムの装備と映像の活用により、ドライバーの安全運転に対す る意識が高まるとともに事故原因の的確な把握が可能となり、交通事故の未然防止に大きな効果をもたらす画期的なシ ステムである。</p>
<p>Travel XML (社)日本旅行業協会 XMLコンソーシアム</p>	<p>従来、各旅行会社で個別に定義されている各種商取引データをXML技術により標準化し一般に公開した。国内海外の 宿泊施設、ツアーオペレータ、旅行者などがインターネットを通じて企業間電子商取引をスムーズに行うことが可能と なり、業務効率化やコストダウンが図られるとともに観光の振興に大きく寄与するものである。</p>
<p>不動産流通標準情報システム(レインズ) (財)東日本不動産流通機構 (社)中部圏不動産流通機構 (社)近畿圏不動産流通機構 (社)西日本不動産流通機構</p>	<p>不動産取引の適正化と流通の円滑化を促進する目的で開発された我が国唯一の優れたシステムである。膨大な数の売 買不動産の登録情報や成約情報等を即時に宅建業者や消費者に提供することにより、売買契約の迅速化や取引市場 の透明化を促進し、業界の近代化や国民生活の向上に多大な貢献をした。</p>

平成16年度U - 20プログラミング・コンテスト入選作品

個人部門

賞	作品名および作成者	作品の概要と入選理由
最優秀賞	求人情報検索システム 岐阜県立多治見工業高校 電気システム科3年 望月 岳(モチヅキ ガク)	<p>求人票をデータベース化し、それをネットワーク経由で校内のどこからでも見れるようにすることを目的として構築したきわめて実用的なデータベース型のWebアプリケーション。</p> <p>検索機能も充実しており、またWebベースのオンラインマニュアルも整備されており、非常に使い勝手が考慮されている。見やすいWebインタフェースで情報の新規登録機能も使いやすく、動作も安定している。また、セキュリティ対策が非常に綿密に考慮されており、扱うデータの機密性を保つことを重視している。非常に実用的で、このまま使用できるだけの完成度を持っている。今後の発展性にも期待できる作品である。ニーズが日常の高校生活の中から発生しているところも評価できる。</p>
優秀賞	Visual Website Editor2 千葉県立国府台高等学校 普通科2年 中野 裕樹(ナカノ ユウキ)	<p>HTMLの勉強、ウェブページの制作の簡略化、のために今までにないHTMLエディターを作る、を目的として最近のHTMLエディターに足りない何かを補うように高機能に仕上げた作品。</p> <p>ソースの構造をリアルタイムでツリー表示することができたり、タグの入力補完の候補がブラウザのバージョンによってフィルタリングできるというタグの入力支援機能(主に要素名と属性名が自動補完される部分)は非常に興味深い。</p> <p>プログラミングという観点から見た場合、高校生が個人でDelphiを使用してこれだけの機能をツールとしてまとめ上げた努力は素晴らしい。アプリケーションとしても画面構成や操作性などに優れており、プログラムとしての完成度は高い。</p> <p><small>DelphiはBorland Software Corporation(旧社名Inprise Corporation)の米国またおよび他国における商標または登録商標です。</small></p>
入賞	RGB Master II 福島県立郡山北工業高等学校 情報技術科3年 佐藤 亘(サトウ ワタル)	<p>Javaアプレットを使用した光の三原色(RGB)を理解するツール。</p> <p>ホームページを作るときにインパクトのある背景と文字の色を作り出すため、視覚的にカラーコードやHTMLのタグを自動生成する。RGBの説明、背景色と文字色のカラーコードを視覚的に確認しながらHTMLタグへ変換、またゲーム感覚でRGBに対する認識をテストするツールが用意されている。</p> <p>赤や緑が認識しづらい色弱の人に対して有効な画面を作る際の色の構成など、色覚バリアフリーの観点などを含め、今後の更なる機能の追加・拡張による有用性の向上についても期待がもてる作品である。新しい表現に挑戦する意欲が感じられ高校生としては良く作っている。</p> <p><small>Java及びその他のJavaを含む商標は、米国Sun Microsystems, Inc.の米国及びその他の国における商標または、登録商標です。</small></p>
入賞	IMAGE TILER 東京都立保谷高等学校 普通科3年 鳶木 圭吾(ツタキ ケイゴ)	<p>画像処理ソフトの一種で、好きな画像を、自分で用意した画像を「タイル」として、タイルで張り詰めたような画像に変換する。</p> <p>画像をタイリングするというシンプルな作品でGUIも含めシンプルな構成をとっている。操作を非常に簡単にしてあるため、パソコン初心者でも操作ができる作品。変換処理も大幅に高速化がはかられている。</p> <p>タイル化のパターンの種類も選択でき、発想としては面白い作品。新規性を評価した。本格的な画像編集ソフトをつくり、その一部の機能として取り入れるなどの有用性もある。サンプル表示、色調整などの機能アップに独自性を期待したい。</p>

団体部門

賞	作品名および作成者	作品の概要と入選理由
最優秀賞	<p>タイピングゲーム制作用スクリプトシステム グループ名 TEAM中人数 学校法人静岡理工科大学 沼津情報専門学校 コンピュータ科 2004年3月卒業 赤池 大五郎(アカイケ ダイゴロウ) 飯田 優(イイダ ユウ) 泉 朋孝(イズミ トモタカ) 熊谷 はるな(クマガイ ハルナ)</p>	<p>この作品はスクリプトを記述するだけで簡単にノベルゲームやタイピングソフトを製作できるようにするためのシステムである。スクリプト言語で簡単な命令を記述するとそれに従って問題を提示したり CGを表示したり音楽や絵を鳴らしながらゲームが進行していく仕組みになっている。 ストーリー性のあるゲームを、スクリプトをテキスト形式で記述する事により、プログラミング経験の無い人でも作成することができる事、また背景やBGM, 登場人物などもある程度柔軟に変更できる点を評価。 加えて、プログラミング的には適度にクラスが分割されており、適正な組まれ方となっている。また、機能を説明するデモ画面等も付属しており、汎用性、実用性を含めて作品としての完成度は高いものがある。</p>
優秀賞	<p>みんなde オセロ！通 グループ名 岐阜県立岐阜商業高等学校EDP部3年 岐阜県立岐阜商業高等学校 情報処理科 3年 酒井 崇裕(サカイ タカヒロ) 鈴木 佑輔(スズキ ユウスケ) 栗本 美穂(クリモト ミホ)</p>	<p>従来のオセロを大幅に拡張した新感覚オセロゲーム。本来の2人対戦に加え4人対戦、コンピュータの思考タイプの変更、ボード(ゲーム盤)の変更(ふつう・おおきい・十字・八角形)、ハンディキャップ、制限時間機能などがある。 オセロ自体はよく知られたゲームで新規性という部分では乏しいが、盤面やプレイ人数、さらには、プレイヤーのキャラクタを工夫するなどしてオセロを超えるオセロを作ろうとしている意欲を感じることが出来る。ソフトとしての完成度も高く、良くできている。強いて言うならば、コンピュータの思考アルゴリズムにさらなる工夫が凝らされるとさらに良い作品になるだろう。画面、アイコン等のデザインも洗練されており、好感が持てる。 人工知能のminimax理論の適用、および再帰的なプログラム構成など、専門的な勉強が進めば更に良くなると考えられる。 オセロは株式会社パルボックスの登録商標です。</p>
入賞	<p>Mercury グループ名 IPFactory 学校法人岩崎学園 情報科学専門学校 ネットワークシステム科3年 宇野 淳(ウノ ジュン) 千島 幸輔(チシマ コウスケ) 坂内 良輔(サカウチ リョウスケ) 福元 貴之(フクモト タカユキ) 山口 紘嗣(ヤマグチ ヒロツグ) 吉村 友克(ヨシムラ トモカツ) 渡辺 剛史(ワタナベ ツヨシ)</p>	<p>Cisco社製Cisco1720ルータをモデルとした、ルータシミュレータ。フィールドに、ルータ、ホスト、ハブを自由に設置。右メニューにはそれぞれのインターフェイスのIPアドレスやサブネットマスクが、ホストに加えてデフォルトゲートウェイの値が見られるようになっている。 Cisco社のルータシミュレーションソフトという他にみられない新規性、独自性が感じられる作品となっている。 ルータ実機を使った演習授業においてルータ実機の数が少ないためにシミュレータを作ったというところに好感がもてる。二分割の画面構成も見やすく、コンソールはタブ切り替え方式を取り入れるなど機能面での工夫も見られる作品で、ルータ、ハブ、ホストを自由に設置でき、実際の環境をシミュレートできる。今後の発展性を期待できる作品である。 ただ、未対応のコマンドが多く、シミュレータとしての精度もまだこれからの課題ということで今後期待したい。 Ciscoは、米国Cisco Systems, Inc. の米国および他の国々における登録商標です。</p>

団体部門

賞	作品名および作成者	作品の概要と入選理由
入賞	<p>フォトシール作成ソフト 道子 グループ名 日本工学院専門学校情報処理科三年制13期卒業制作グループ MICHIKO 学校法人片柳学園 日本工学院専門学校 情報処理科 平成16年3月卒業 樋口 道子(ヒグチ ミチコ) 北村 祐佳(キタムラ ユカ) 佐野 由美子(サノ ユミコ) 古橋 香緒里(フルハシ カオリ) 須田 陽子(スダ ヨウコ)</p>	<p>画面を取り込み、加工、分割し印刷する使いやすいフォトシール作成ソフトウェア。以下の機能を持つデジカメ等で取った画像をプリクラ感覚で加工できるのはユニークで面白い。また、パソコンに慣れていない人でも操作が簡単にでき、操作画面も明るいイメージなので、多くの人に親しみを持って受け入れてもらえると思われる。操作性も高く動作も安定している。また、ドキュメントや説明ビデオ等が整備されている点も評価した。試作版を作成しフィールドバックを重ねることで、使う側の要望をより盛り込んで機能拡張している。画面遷移がちょっと遅い、プレビューが小さいなどの難点もあるが、初心者でも操作が簡単に出来て非常に実用的であり、作品としての完成度は高い。</p>
入賞	<p>ロジックシミュレータ by Database グループ名 郡山北工プログラマーズ 福島県立郡山北工業高等学校 情報技術科3年 郡司 麻衣子(ケンジ マイコ) 富田 幹子(トミタ ミキコ) 矢部 昌美(ヤベ マサミ) 岐阜大学工学部応用情報学科1年 橋本 賢治(ハシモト ケンジ)</p>	<p>データベースソフトAccessのクエリーを使って論理素子相互間を接続し新たな論理回路を作成する論理回路シミュレータ。 テーブルに基本論理を作成すればクエリーを活用することによってどんどん新たな回路が簡単に作成できる。それも論理回路CADと同様に配線ができ、入出力の関係も出力できる。また入出力装置ではさまざまな入力を与えることができる。 論理回路シミュレータには既に様々な方法論により数多く開発されているが、論理回路の設計に、データベースのリレーションを使用する目の付け所が、非常にユニークでアイディア的にも良い。 自分たちが授業で学んできたことを忠実に守って再現している。さらに、実験器具(シミュレータ)部分を拡張する事で、様々な制御系の実証及びテストの為の実用的なツールとなる可能性をもっている。 <small>Accessは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corp.の登録商標です。</small></p>
入賞	<p>Once Upon A Time In Space グループ名 情すべ 学校法人国際電子ビジネス専門学校 情報スペシャリスト科 大城 雄太(オオシロ ユウタ) 西位 健(ニシイ ケン) 津波 和貴(ツハ カズキ)</p>	<p>弾幕シューティングゲームである。「弾幕」とは、敵機の放つ弾が画面いっぱいに出ており、弾が美しい絵を描き、敵機が様々な攻撃パターンでプレイヤーを攻撃するゲーム。敵機を倒したり、爆弾で敵機の弾を消したりするとアイテムが大量に出現し、出現したアイテムを一気に吸収し、高得点をだして爽快感を味わうことができる。難易度設定で初心者から上級者まで簡単に遊べる。 アイデアの新規性はないが、全体的なデザインや操作についての統一感、質感が優れている。既存のシューティングゲームを再現しただけではなく、多すぎるほどの弾を表示させることを目標にし、それをよく実現し、かつ操作性も失っていない点が評価でき、ゲームとしての面白さも十分に感じられる。弾幕が画面展開された場合でも、全体の処理速度が落ちることもなく安定動作した部分にオブジェクトをリスト構造化した効果が見られた。ただ、かなり力技でプログラミングしている感がある。</p>